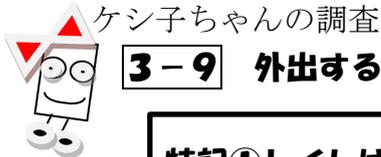




# 認定調査とつきクン通信 (R1第10号)

(R1年度は、「選択肢の選択根拠」がきちんと書かれている特記について発行いたします)



ケシ子ちゃんの調査

## 3-9 外出すると戻れない「ある」

**特記①**トイレは居室内にあるが、部屋から出ると自分の居室に戻れない、職員が居室に連れて行く。

んー。戻れなくなることがあるのはわかったけど、どのような場面で、戻れないのか。頻度も確認したのかなー。



ごめんなさい。職員から聞いていたけど、この内容でわかるだろうと思って書かなかった。書き直します。



書かないと状況がわからないよ。



「ある」

**特記②**トイレは居室内にあるが、部屋から出て食堂に行き戻る時に自分の居室がわからなくなる為、職員が様子を見ながらほぼ毎回居室へ連れて行く。その他週2回の入浴や他のフロアーに行く時は、必ず職員が付き添う。

有無で選択する項目の場合、基本調査項目の選択は行動の発生と頻度で「ない」・「ときどきある」・「ある」を選択するよね。けれど、どのような行動が発生しているのか、介護の手間やその頻度は何回あるのか選択根拠が大切で、今回の内容であれば「一日に3回食事のたびにほぼ毎回職員が対応している」という特記が記載されていることにより、審査会で二次判定を仰ぐための重要な役割の一つとなるんだよ。

